

3A第1回IRレポート

目次

- 1.社長挨拶
- 2.役員紹介
- 3.企業理念
- 4.社名の由来
- 5.経緯
- 6.糖質に関する問題
- 7.実現したいこと

- 8.活動報告
- 9.キッカケ提供の概要
- 10.商品紹介
- 11.協力企業
- 12.取材先
- 13.事業報告
- 14.今後の予定

1.社長挨拶

株式会社To…の社長を務めております、生田目璃奈です。

この度、このような貴重な経験をさせて頂けていることをとても嬉しく思います。

3Aの起業体験では、身体に必要なエネルギーでもあり、時に肥満や生活習慣病の原因にもなる「糖質」に着目しました。

みなさん、糖質と糖類の違いを説明できますか?

痩せたいからといって、過度な糖質制限ダイエットをしていませんか?

また、知らず知らずのうちに糖質を摂りすぎていませんか?

弊社は、世間の糖への正しい認識が薄いことを問題とし、白ばら祭での取り組みを通じてより多くの方の食習慣が無理のない楽しいものになるよう、日々活動しています。

理念実現のため、社員一同誠心誠意頑張っていきますので、何卒よろしくお願い致します。

2.役員紹介

マネージャー

加藤かれん

取締役

神谷理沙

会計長

渡邊ひらり

広報長

高木愛里

役員



3.企業理念

「糖」と向き合う"キッカケ"をあなたに

私たちは、**糖質に関する正しい知識**を普及すると共に、より多くの人が糖質と向き合い、**自分に適した糖質摂取をしていただくキッカケを提供**することで、将来的に糖尿病をはじめとする生活習慣病の発症リスクを下げるお手伝いをします。 更に同世代にも正しい食習慣と糖への認識を深めさせることで、継続的な健康をサポートしていきます。

4.社名の由来

弊社の社名"To…"に込めた2つの意味

~のために

私達は
"多くの方が糖と向き合うために"
活動しています。





11 77

企画終了後から 正しい糖質摂取を継続



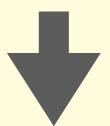
5. 経緯

~きっかけ~

"好きな食べ物を我慢してしまう"

日々の食生活において主食やお菓子などに多く含まれる糖質を摂りすぎることで、肥満などの健康被害を及ぼすのではないかという考えから、好きな食べ物を我慢してしまうという身近な悩みが私たちの出発点でした。

きっかけ "好きなものを我慢してしまう"



身体に悪そう

なぜ? 食べることへのマイナスイメージ

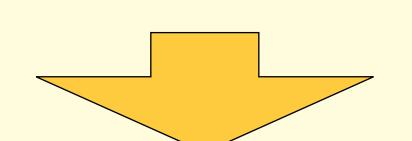




実際

- ・糖質過多ではなかった
- ・糖質を気にしているのに糖質過多だった

思い込みや勘違い



正しい知識を持っていない

適切な糖質摂取は人それぞれ

6.糖質に関する問題

過激な糖質制限

10代20代に多い過度な糖質制限

- ・糖質制限がもたらすメリットは?
- ・摂らなさすぎはかえって危険なの?
- → 正しい知識を知らないまま おこなっている

糖質過多

戦後の食習慣の欧米化

- →手軽に美味しいご飯が食べられる世の中
- →栄養バランスの偏りや生活習慣の乱れ
- →糖質過多は糖尿病など病気のリスクを上げる

幼少期の偏った食習慣+酒などの因子

→将来的な糖質過多のリスク

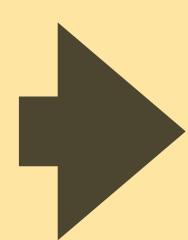
糖尿病

国が定める重要疾患の一つ。

血糖値を一定にする為に分泌されるインスリンが十分に働かず血液中を流れる ブドウ糖が増加してしまう。悪化すると心不全や脳卒中などの重篤な病気に繋がる。

~日本~ 成人の6人に1人が患者or予備軍

~世界~ 11人に1人が有病者



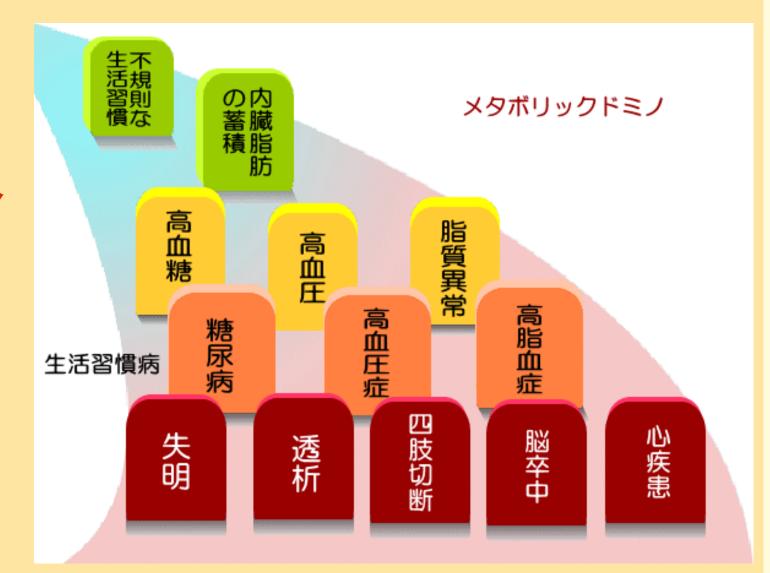
糖尿病患者数は 増え続けている

糖質過多→肥満 →メタボリックドミノ

メタボリックドミノ

様々な生活習慣病がドミノ倒しのように襲ってくる現象

肥満からメタボリックシンドロームが進行するとこの現象は起き、 生活習慣病は繋がっている為ドミノが**一つ倒れるだけでも危険** 近年、ガンもドミノの流れで発症する事が分かり注目されている。



※メタボリックシンドロームとは

お腹周りに脂肪が蓄積する"内臓脂肪型肥満"に加え脂質代謝・血圧てん血糖のうち2つ以上に異常がある状態

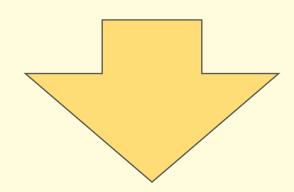
7.実現したいこと

正しい知識の普及ときっかけの提供によって

○自分に適した糖質摂取を生活に組み込む→乱れた食習慣の改善、健康維持!



○子供の頃や若いうちの食習慣は大人になっても影響を及ぼす→より早い段階での正しい認識が必要



正しい知識を持った上で、無理のない楽しい食習慣を!

8.活動報告

4月

- ・役員決定
- ・個人企画書から抜粋した 企画を各班でプレゼン

6月

- ・企業理念決定
- ・企業名決定
- ・AKITO様との交渉
- ・山田悟先生に取材
- ・順天堂大学医学部附属順天堂医院
- 糖尿病・内分泌内科 佐藤涼子先生に取材
- ・管理栄養士 鷲亜由香様に取材

5月

- ・企画決定
- ・フードレコード
- ・グループごとで販売商品のリサーチ
- →共有・議論
- ・BeeDo様との交渉

4月

()企画プレゼン



社員から集めた個人企画書から 6つの身近な問題を厳選。 6班に分け、各班で具体的な解決策を考え発表。 起業体験プレゼンテーションを意識した評価を お互いに行いました。

5月

○フードレコード

糖質摂取の現状を知る為に、GW中に実施。 社員に毎日口にしたもの全てを記入してもらい、 管理栄養士である鷺亜由香様のご協力の下、糖質 摂取量を算出しました。

一グループリサーチ

そもそも糖質とは何なのか、糖質が多く含まれている食品、現代人に不足しがちな栄養素など、活動していく中で必要となってくる情報をグループ分けしてリサーチ。その後GW明けにクラス全体でまとめた情報を共有しました。



9.キッカケ提供の概要

無料体験

まずは自身の糖質に関する現状把握から



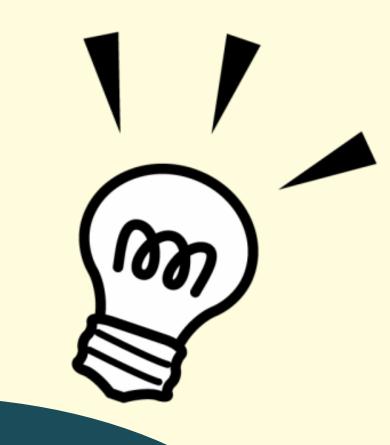
糖質や血糖値などについての正しい情報を提示 クイズによる参加型

AGEs測定

AGEs(最終糖化産物)の蓄積状態から生活習慣の乱れをチェック (もっと詳しく自身の現状を知りたい人向けに!)

商品販売

商品でのキッカケの提供(糖質の「質」と「量」に着目)



この流れを実現するために 専門家のご意見を伺いながら 内容を詰めていきます!

無料体験

*自分の糖質摂取量がわかる

より多くの人に自身の糖質摂取量を 知ってもらいたいので無料!

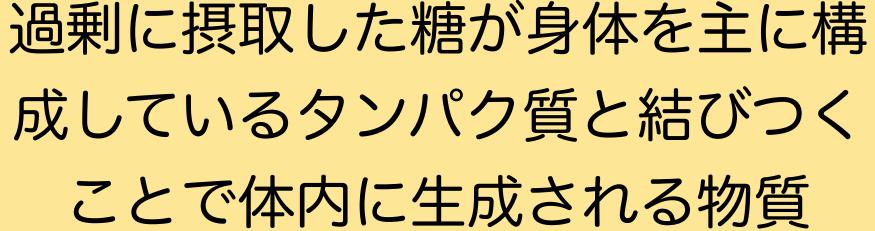
> あまり時間をかけずに できる方法を模索中



AGEs測定







*生活習慣の成績表

無料体験と合わせることによってより詳し く身体の現状を知ることができる!



10.商品紹介

糖質の質と量2つの観点から食習慣にアプローチ。

これらの商品を決めるにあたり、様々な場面で使用する白砂糖に着目。

白砂糖はGI値・糖質量ともに高いため、食習慣改善の鍵となる食材の1つです。

質はGI値についての視点

食品に含まれる糖質の吸収度合いを示し、食後血糖値の上昇速度を表す指数

量は糖質量についての視点

商品の炭水化物量から食物繊維量を引いたもの

アカシア蜂蜜(北海道100%純粋蜂蜜)

糖質の質にアプローチ!

380円/2,5g×6本



- ・スティックタイプ
- →使い過ぎを防ぐ
- 味のクセがない
- →使用しやすい
- ・白砂糖と比べ

GI値が低く栄養価も高い。

・生活に組み込みやすい

ミルクジャム

糖質量にアプローチ!

420円/30g



- ・砂糖の使用を控えている
- →低糖質
- ・朝食のお供になる
- →3食しっかり食べること 血糖値の上昇が緩やかに
- →朝食を習慣づける キッカケにもなる

11.協力企業

O BeeDo様

北海道産の蜂蜜専門店として 北海道旭川市を拠点に活動されていて アカシア蜂蜜を提供して頂きます。



OAKITO樣

神戸元町に店を構え、ミルクジャムやフルーツジャムをはじめフランス菓子等を販売されていて ミルクジャムを提供して頂きます。



○北里大学北里研究所病院 糖尿病センター長

山田悟 先生



山田悟先生は、科学的根拠に基づいて

『おいしく、楽しく食べて、健康に』を現実化していく協会である

一般社団法人食・楽・健康協会の理事長であり、ロカボの設立者です。

正しい知識や情報を普及するにあたり、

私たちの調査内容についてチェック・アドバイスをしていただく予定です。





最近はコンビニやスーパーで 簡単に買うことができます! このマークが目印なので 是非見つけてみてください!

食・楽・健康協会の登録商標のこと

CartOFF

極端な糖質制限ではなく

『おいしく楽しく適正糖質』を推奨されています。

12.取材先

順天堂大学医学部附属順天堂医院 糖尿病・内分泌内科

佐藤淳子 先生



管理栄養士

灣亜由香 様



13.事業報告

理念性	63
貢献性	58
チャレンジ性	46
事業性	63
実行性	59
合計	289
順位	8
出資希望額	¥129,155
最終出資額	¥136,904

貢献性

現代社会においての無知な糖質制限や乱れた食習慣、また世界規模で問題になっている糖尿病人口の増加などの深刻さを伝え、老若男女に自分事として捉えて頂くことを展示をはじめとして実現します。

チャレンジ性

糖と向き合うキッカケとして弊社が取り組む、「4つの流れ」についてより具体的に内容を詰め、それぞれの意義やストーリー性などを明確に提示することで、来場者一人ひとりに適した糖質摂取・食習慣の見直しをサポートします。

全体の反省

ターゲットが伝わりにくかったことが挙げられます。 今後こちらも明確化していきます。

14.今後の予定

・AGEs測定機の体験を実際に行うことにより 理解を深める

・無料体験の詳細を考案

・商品の販売方法の工夫

To be continue...